

青医第379号
令和元年6月4日

県内原子力災害拠点病院長 殿
⑨ 県内原子力災害医療協力機関の長 殿

青森県健康福祉部医療業務課長
(公印省略)

弘前大学大学院保健学研究科「被ばく医療研修」について

本県の原子力災害医療体制の推進につきましては、平素より御指導、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記講座について、主催者である国立大学法人弘前大学保健学研究科より貴機関へ開催案内が送付されているところですが、原子力災害医療関係機関の職員につきましては、下記のとおり、県が参加旅費を負担しますので、関係者の皆様には是非参加して下さるようお願いいたします。

記

- 1 開催期間
令和元年8月31日(土)、9月1日(日)
- 2 会場
弘前大学大学院保健学研究科(弘前市本町66-1)
- 3 対象者
看護職者及び診療放射線技師(合せて15名)
- 4 参加申込について
別添『令和元年度 被ばく医療研修 開催案内』の8. 申し込み方法(インターネットによる申し込み)により、弘前大学保健学研究科へ直接申し込んでください。既に申し込みされた方については、「5 旅費支給の手続きについて」をご覧ください。
- 5 旅費支給の手続きについて
 - (1) 参加申込後、弘前大学保健学研究科より受講決定の旨の通知を受けた後、以下の書類を下記担当あて8月2日(金)までにFAXで提出してください。
 - ① 受講決定通知書(弘前大学保健学研究科より送付)
 - ② 旅行日程及び振込先について(別添様式)
 - (2) 講座研修終了後、弘前大学保健学研究科より「修了証」が発行されますので、下記担当あて修了証の写しをFAXで提出してください。県の旅費規程に基づき口座振込により支給いたします。

【担当】青森県健康福祉部医療業務課
業務指導G 増田大介
電話 017-734-9289
FAX 017-734-8089

送付先：医療業務課業務指導グループ 増田 宛
 FAX：017-734-8089

旅行日程及び振込先について

| | | | | | |
|--|---|-------|-------|--------|----|
| 研修名 | | | | | |
| (ふりがな) 参加者氏名 | | | | | |
| 所属機関 (連絡先) | 電話番号 () | | | | |
| 参加者の 自宅住所 | 〒 | | | | |
| 自宅電話番号 | | | | | |
| 振込先 | 金融機関名 | 銀行 | | 支店 (所) | |
| | 口座種別 (1. 普通 2. 当座 3. その他) | | | | |
| | 口座番号 | | | | |
| | 口座名義 (カタカナ) | | | | |
| 旅行日程 及び宿泊 | ※宿泊をしない場合は、1及び2の記入は必要ありません。 | | | | |
| | 1. 旅行日程 【令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日】 | | | | |
| | 2. 宿泊 (旅行中、宿泊をする日に○を記入してください。) | | | | |
| | | 出発日 | | | |
| | 宿泊 | | | | |
| | 3. 旅行手段 (下記事項をよく読んで記入して下さい。) | | | | |
| | ・勤務先から旅行先まで公共交通機関を利用した場合の旅行手段を記入してください。なお、自宅から直接出発 (帰宅) する場合は、自宅の方が旅行先に近く、旅行手段も異なる場合には自宅から記入してください。 | | | | |
| | ・旅行手段は下表に利用する順に記入してください。 | | | | |
| | ・往路と復路が異なる場合は、区分して記入してください。 | | | | |
| | ・記入欄が足りない場合は別紙でも構いません。 | | | | |
| 【利用する公共交通機関毎に下記内容を記載してください。】 | | | | | |
| ①鉄道：A (鉄道会社名)、B (出発駅)、C (到着駅) | | | | | |
| ②バス：A (バス会社名)、B (出発停留所)、C (到着停留所)、D (料金) | | | | | |
| ③航空機：A (航空会社名)、B (出発空港)、C (到着空港) | | | | | |
| No | A 旅行手段 | B 出発地 | C 到着地 | D 料金 | 備考 |
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |



令和元年5月吉日

青森県健康福祉部長 殿

弘前大学大学院保健学研究科長

齋藤陽子

(公印省略)

弘前大学大学院保健学研究科「被ばく医療研修」の開催について (通知)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

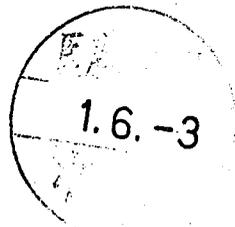
本研究科の教育・研究につきましては、平素から格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弘前大学は「放射線科学及び被ばく医療における安心・安全を確保するための国際的な教育研究の推進」を目標として掲げており、この一環として本研究科では「被ばく医療人材育成推進プロジェクト」を展開し、平成22年度から緊急被ばく医療短期教育プログラム「被ばく医療研修(旧名称・現職者研修)」を実施しております。

今年で通算10回目となる本研修会は、現職の看護職者及び診療放射線技師を対象としており、緊急被ばく医療に必要な知識を習得し、他職種と連携・協働しながら適切な対応と安全管理ができる医療職者の育成を目的としております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、関係各位に周知くださいますようご協力の程よろしくお願い申し上げます。

敬具



【本件担当】

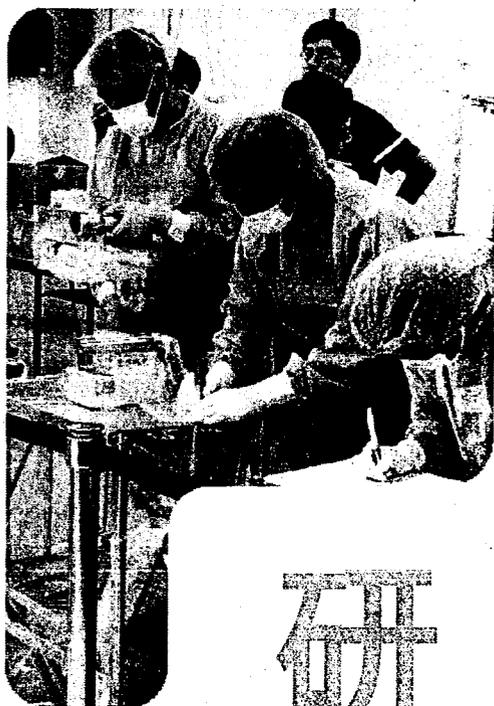
弘前大学保健学研究科 総務グループ(桑田)

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

TEL: 0172-39-5518 FAX: 0172-39-5912

E-mail: hh_hh@hirosaki-u.ac.jp

国立大学法人弘前大学大学院保健学研究科被ばく医療人材育成推進委員会主催



被ばく医療 研修



開催日 令和元年 月 日(土) - 月 日(日)

場所 弘前大学大学院保健学研究科 (青森県弘前市本町66-1)

お申込み 被ばく医療人材育成推進プロジェクトHP
<https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj>



対象者 看護職者および診療放射線技師 (定員15名)

申込締切 7月15日 (月・祝)

お問い合わせ 弘前大学保健学研究科 総務グループ
☎ 0172-39-5518 ☒ hh_hh@hirosaki-u.ac.jp



令和元年度 被ばく医療研修 開催案内

弘前大学大学院保健学研究科では、本学が掲げる「放射線科学及び被ばく医療における安心・安全を確保するための国際的な教育研究の推進」の一環として「被ばく医療人材育成推進プロジェクト」を展開しており、平成22年度からスタートした看護師と診療放射線技師を対象とした緊急被ばく医療短期教育プログラム「被ばく医療研修（旧名称・現職者研修）」の開催も今年で10回目となります。被ばく医療や放射線に関する知識の習得、他職種との協働を目的とした講義・演習に加え、2日目の演習では実際の被ばく事故を想定したシミュレーションを本番さながらの緊張感をもって実施いたします。

本研修は入門的内容となっておりますので、初めて被ばく医療を学ぶ方、放射線の基礎知識の習得や復習をお考えの方、また、他職種とのチーム連携や教育ネットワーク作りに興味のある方にも大変お勧めです。

どうぞお気軽にご参加ください。

| | |
|-----------|---|
| 1. 開催期間 | 令和元年8月31日（土）～9月1日（日） □事前学習としてeラーニングによる学習プログラムを実施していただきます。 詳しくはプログラムの「事前学習：eラーニング」をご覧ください。 |
| 2. 開催場所 | 弘前大学大学院保健学研究科（青森県弘前市本町66-1） |
| 3. プログラム | 別紙参照 |
| 4. 募集コース | 看護職コース / 診療放射線技師コース |
| 5. 対象者・定員 | 看護職者及び診療放射線技師 合わせて15名 □先着順で定員に達し次第締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。 |
| 6. 申込み期間 | 令和元年6月3日（月）～7月15日（月・祝） |
| 7. 受講料 | 無料 |
| 8. 申し込み方法 | <p>所定の申込様式でのお申込みとなります。 申し込み期間内に下記ウェブサイトの研修特設ページから所定の様式をダウンロードし、申し込み手続きを行ってください。</p> <p style="text-align: right;"></p> <p>被ばく医療人材育成推進プロジェクト ホームページ https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/seminar_event/se_20190419.html</p> <p>□受講の可否については7月下旬頃にメールでのご連絡を予定しております。 □申込み受付完了後に指定のメールアドレスに確認メールをお送りします。 お申し込み1週間以内に確認メールが届かない場合は下記の問い合わせ先までご連絡ください。</p> |
| 9. その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・本研修の修了者には修了証を発行いたします。 ・お弁当の注文をご希望の方は申込時に承ります（お弁当代 700円/個・お茶付）。 ・1日目プログラム終了後にグループごとの翌日のシミュレーションの打ち合わせ、引き続いて「情報交換会」（軽食やお飲み物をご用意しております）を企画しております（参加費 1千円/人）。チームワークを円滑にするためにも奮ってご参加ください。 ・研修にはパンツスタイル、スニーカーなどの動きやすい服装でご参加ください。 ・講師及び講義のタイトルは都合により一部変更になる場合があります。 ・本研修は原子力規制庁が実施する「原子力災害時医療中核人材研修」とは異なりますのでご注意ください。 |
| ◎お問い合わせ先 | 弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：桑田） 〒036-8564 青森県弘前市本町66-1 E-mail: hh_hh@hirosaki-u.ac.jp Tel: 0172-39-5518 Fax: 0172-39-5912 |

**弘前大学大学院保健学研究科
令和元年度 被ばく医療研修 プログラム**

8月31日(土): 1日目

診療放射線
 技師コース
 看護職
 コース

| | | | |
|---------------------|--|---|---|
| 08:00~08:30 | 受付 | | |
| 08:30~08:50 | 開講式・ガイダンス | ● | ● |
| 講義 1 08:50~09:50 | 「原子力災害におけるこころのケア」 災害時のこころのケアと原子力災害が及ぼすところへの影響を解説します | ● | ● |
| 講義 2 10:00~11:00 | 「原子力災害と放射線事故」 原子力災害の概要、過去の事故事例や緊急被ばく医療に関する実際について解説します | ● | ● |
| 11:10~11:40 | 緊急被ばく医療施設見学（高度救命救急センター 除染室等） | ● | ● |
| 11:40~12:00 | 写真撮影 | | |
| 12:00~12:50 | 昼休み ※お弁当を注文されている方以外は各自昼食をご用意ください | | |
| 演習 1 12:50~13:50 | 「放射線の量と単位」 放射線の量と単位の関係がイメージできるように演習します | ● | |
| | 「線量計算演習」 外部被ばく、内部被ばく線量の推定方法、計算における考え方を通して学習します | | ● |
| 演習 2 14:00~15:30 | 「サーベイメータの取扱い」 傷病者の処置時に必要なサーベイメータの取り扱いと測定方法について演習します | ● | ● |
| 演習 3 15:40~17:30 | 「除染・防護服着脱方法」 放射性物質により汚染している創傷の処置の仕方及び被ばく患者受け入れ時の防護服着脱方法について実践します | ● | ● |
| 17:30~ | 顔合わせ・役割分担 ~ 情報交換会 | ● | ● |

弘前大学大学院保健学研究科
令和元年度 被ばく医療研修 プログラム

9月1日(日): 2日目

看護職
コース
診療放射線
技師コース

| | | | |
|-------------|---|---|---|
| 08:20~08:40 | 受付 | | |
| 08:40~08:45 | 2日目ガイダンス | ● | ● |
| 講義 3 | 「福島現状」 | | |
| 08:45~10:20 | 2011年の事故以降、福島県の住民はどのような問題に直面してきたのか、どのように克服してきたのか、現在どのようなことが問題になっているのかなど解説します。 | ● | ● |
| 演習 4 | 「事例説明、チーム編成及び汚染・被ばく患者の受け入れ体制作り」 | | |
| 10:40~11:30 | 演習5の事例説明、緊急被ばく医療体制のチーム編成、役割などについて学習します。優先度を考慮し、患者の受け入れ方法、必要な情報と処置等の手順をグループで話し合います | ● | ● |
| 11:30~12:40 | 昼休み ※お弁当を注文されている方以外は各自昼食をご用意ください | | |
| 演習 5 | 「汚染・被ばくを伴う患者受け入れ」 | | |
| 12:40~14:20 | 外部汚染のある患者の搬入から一般病室への退室までの一連の流れについて実践します | ● | ● |
| 演習 6 | 「まとめ」 | | |
| 14:40~16:00 | 体験した演習4、5での気づきや課題について話し合いをします | ● | ● |
| 16:00~16:20 | アンケート | ● | ● |
| 16:20~16:30 | 閉講式・修了証授与 | ● | ● |

弘前大学大学院保健学研究科 令和元年度 被ばく医療研修 プログラム

事前学習 : e ラーニング

診療放射線
 技師コース
 看護職
 コース

| | | | | |
|--------|---|-------------------------|---|---|
| 事前学習 1 | 「放射線の基礎」 放射線の単位や性質、身の回りの放射線などの基本的な知識について解説します | 弘前大学大学院保健学研究科 細田 正洋 | ● | |
| 事前学習 2 | 「放射線の生物影響の基礎」 放射線による生物への影響などの基礎的な知識について解説します | 弘前大学大学院保健学研究科 吉野 浩教 | ● | |
| 事前学習 3 | 「放射線防護の基礎」 基本的な放射線防護や放射線規制などの基礎的な知識について解説します | 弘前大学大学院保健学研究科 細川 洋一郎 | ● | |
| 事前学習 4 | 「放射線の人体影響」 外部被ばく、内部被ばくによる放射線の人体への影響について解説します | 弘前大学大学院保健学研究科 柏倉 幾郎 | ● | ● |
| 事前学習 5 | 「緊急被ばく医療の原則」 緊急被ばく医療の原則とその概要について解説します | 弘前大学大学院保健学研究科 斎藤 陽子 | ● | ● |

事前演習説明 8月31日(土)、9月1日(日)に実施する演習に関する内容の説明動画です。
【動画】 演習受講までにご覧ください。(合計20分程度)

- ① 防護服の着方(参考)
- ② 防護服の脱ぎ方(参考)
- ③ 創傷汚染部位の除染方法(視聴必須)
- ④ 汚染を伴った外傷患者への対応(視聴必須)

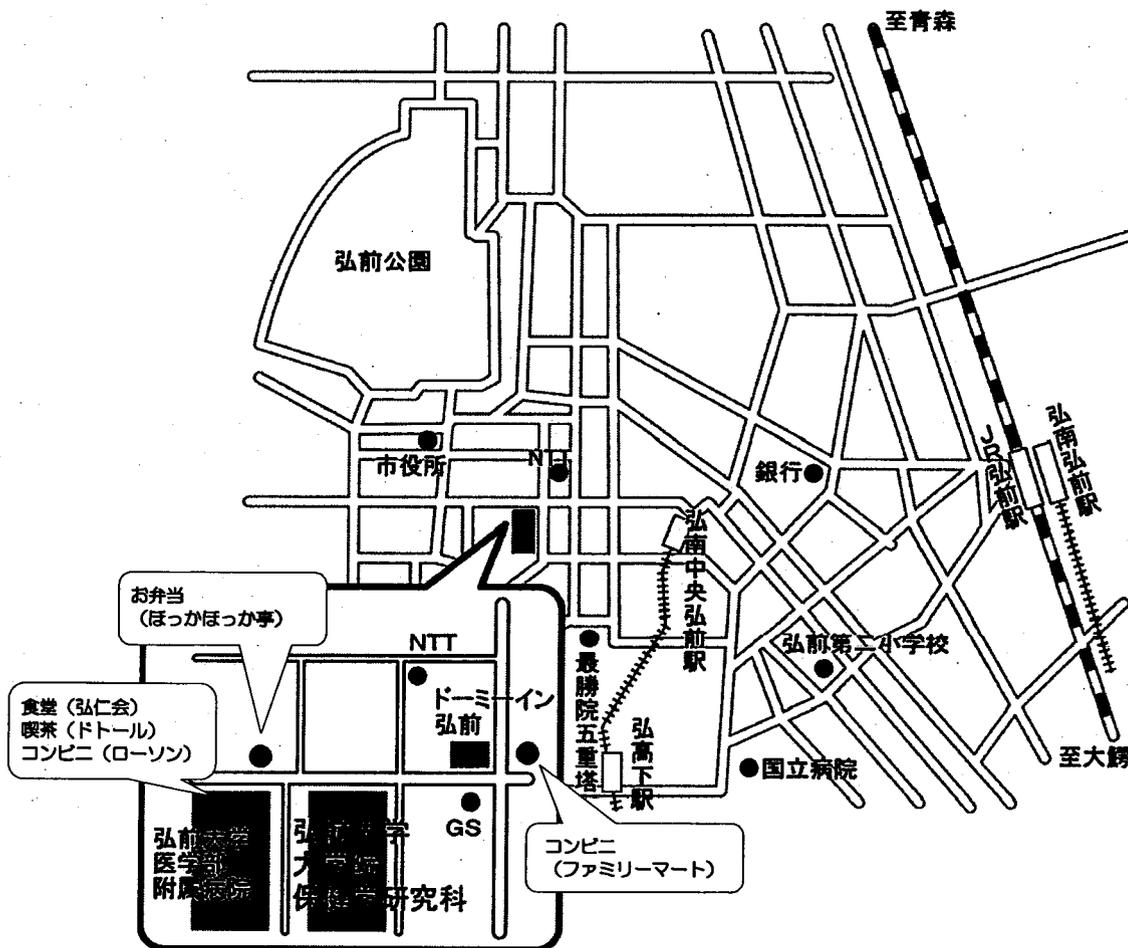
【e ラーニングについて】

- 事前学習として、インターネットを利用したeラーニングによる学習プログラムを実施します。eラーニングの開講は7月下旬~9月末を予定しており、受講者には開講時に受講IDを送付します。
- 各講義の受講時間の目安は、おおよそ20分です。
- 主な動作環境は下記のとおりです。その他ご不明な点については別途お問い合わせください。

| パソコン | | 2019年5月現在 |
|-----------------------------------|----------------------------------|---|
| Windows 7 SP1/ 8.1 / 10 | Internet Explorer11 | 各ブラウザに対応した最新の Adobe Flash Player が必要です。 |
| | Google Chrome ver. 66.0.3359.139 | |
| Mac OS 10.11 | Safari ver. 11.1 | |
| | Google Chrome ver. 66.0.3359.139 | |
| スマートフォン / タブレット | | |
| Android 5.0/5.1/6.0/7.0/7.1.1/8.0 | Google Chrome | |
| iOS 9/10/11 | Safari | |

【お問い合わせ先】 弘前大学保健学研究科 総務グループ TEL0172-39-5518 hh_hh@hirosaki-u.ac.jp

アクセス



弘前大学大学院保健学研究科

〒036-8564 青森県弘前市本町 66 番地 1

Tel : 0172-39-5905 Fax : 0172-39-5912

公共交通機関でお越しの皆様

- ◆ 弘南バス(JR 弘前駅前から約 20 分)
 - ◆ 駒越経由藤代行き(6 番のりば)「大学病院前」下車
 - ◆ 桔梗野又は金属団地經由桜ヶ丘行き(8 番のりば)「本町」下車
 - ◆ 市内循環 100 円バス(土手町循環)のりば「大学病院前」下車 ※10:00~18:00(10 分間隔で運行)
- ◆ タクシー(JR弘前駅から約 10 分)
 - ◆ キャンパスが複数ございますので、タクシーをご利用の場合はドライバーに「大学病院隣の保健学研究科」とお伝えください。

自動車でお越しの皆様

- ◆ JR 弘前駅より(所要時間 約 10 分)
- ◆ 東北自動車道弘前・大鰐 IC より(所要時間 約 30 分)

駐車場について

- ◆ 駐車場をご用意しておりますが、数に限りがございますので、お車での来場はなるべくご遠慮ください。